



FÛ

EN

楓園

CONTENTS

- | | |
|------------------------------|-------------------|
| 1 — 特集 小学部のパイプオルガン | 7 — 学院人事 |
| 3 — 大学 NEWS | 9 — 2006年度行事予定 |
| 4 — 東洋英和幼稚園 NEWS・かえで幼稚園 NEWS | 11 — 英和の植物通信・お知らせ |
| 5 — 中高部 NEWS | |



■オランダ、ライル兄弟社製のオルガン—小学部講堂—
昨年11月30日にオランダで船積みされ、1月11日に学校着。2月2日に完成し、
3月6日奉獻式を挙行。直角に据えられたユニークな型と豊かな響きが児童を
魅了した。

学院三番目のオルガン

わたしたちが神さまを賛美する道具としてこのオルガンをを用いることができますように
そして神さまが、わたしたちの賛美をお受け入れください

(奉献の祈り)

ハレルヤ。

新しい歌を主に向かって歌え。

主の慈しみに生きる人の集いで
賛美の歌をうたえ。

詩編 一四九編一節



「パイプオルガンの建設を考えてみよう」という寺澤先生の一言でこのプロジェクトは、始まりました。ミッションスクールの音楽科教師として、パイプオルガンがあったら素敵だなとは思っていたものの、中高にも大学にも立派なオルガンがあり、とても小学部には入れていただけないだろうと思っていただけに、喜びと同時に驚きを感じながら、パイプオルガン建設準備の作業が始まりました。

限られたストップ数の中でどのような音色を選ぶのか、また学校行事になるべく支障をきたさないような設置時期はいつなのか、などの交渉は時に困難を伴うものでありましたが、新しいオルガンを心待ちにする気持ちを高めるものでもありました。

二〇〇五年十一月には、ライル社工房でオルガンが出来上がったとの報告が入りました。日本到着は十二月二十七日との予定を受け、国内での輸送手段の手配に入りましたが、年末年始のお休みの関係で調整は難航しました。また、コンテナ車の道路通行許可がなかなか下りず、オルガンが港に放置されるようなことになったらどうしようかと、とても心配した時期もありました。ようやくすべての準備が整ったのは十二月二十七日、オルガンが日本の港に到着する日でした。

さいました。賛美歌や説教の言葉は分らないけれど、オランダの礼拝でも使われているメロディーを聞いて、オランダと日本は同じ神様を信じているということを実感した、という彼らの言葉を聞き、こういう気持ちを持つ方々に、私たちのオルガンを作っていただけのこととは、なんといいう幸せだろうと感激しました。

製作中のオルガンを見学した子どもたちは、「オルガンは大きいけれど、弾くところ(鍵盤)はすごく小さい」「英和のマークがいい!」「早くこのオルガンの伴奏で歌いたい」と大興奮でした。

二週間にわたる組み立て作業の後は、新しいスタッフ二名を迎えての整音作業です。八六四本あるパイプすべての音を整えていきます。夕方に講堂へ行くと「今日は、このストップの音が整ったから聴いてくれ」と嬉しそう

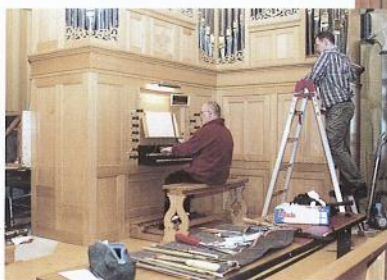
募金活動をいかに開始するかを思案中に、芦田淳・友子ご夫妻から、オルガンを寄贈したいという思いがけないお申し出をいただき、感謝のうちに受け付けることとなりました。

オランダのライル兄弟オルガン製作所と契約が交わされたのは、二〇〇三年夏のことでした。

組立立てスタッフ三人は、敬虔なクリスチャンで、水曜日の全校礼拝を共に守ってくだ



(上) モンタージュ(組立作業)
(左) 整音作業



奉献式おめでとぅういいます

芦田 淳
友子

この度は、パイプオルガンの奉献式を迎え、心からお祝い申し上げます。私共は、親子三代、妻、娘二名、孫二名にわたって東洋英和女学院幼稚園からお世話になりました。更に、次女の連れ合いの八十七才の祖母は幼稚園から、又妻の従姉妹五名も小学部からの卒業と云う事でございまして、まるで東洋英和女学院一家とでも申す様な状態でございまして。皆それぞれに、お教えを守り、幸せに過ごして居ります事、ただただ神のお導き、ご指導の賜物と感謝の思いで一杯でございます。このご恩は永久に忘れる事はできません。その上、創立二二二年の輝かしい記念すべき時に素晴らしいパイプオルガンを寄贈させて頂く名誉を頂きました事の感動は言葉もございません。有難うございます。

“敬神奉仕の精神”のもと、どうか御校が益々ご繁栄されます事、理事長先生を始め諸先生方の御健康、児童の皆様が立派な社会人になられます事を祈り感謝の言葉に代えさせていただきます。

芦田 淳 プロフィール
1930年生まれ。中原淳一氏に師事。1963年に(株)ジュンアシダを設立。1966年から10年間美智子妃殿下(現皇后陛下)の専任デザイナーを勤める。アトランタ五輪では日本選手団のユニフォームデザインを担当。紫綬褒章、フランス共和国国家功労賞オフィシエ、イタリア共和国功労勲章カヴァリエレ・ウフィチアーレ他受章多数。



芦田友子 プロフィール
東洋英和女学院高等部を卒業後、ドレスメーカー女学院に学ぶ。小林洋子氏に師事。(株)ジュンアシダの設立に参画し、現在は副社長として商品企画、デザイン、技術面から経営全般に至るまで統括する。



に言われ、小さな演奏会のよう

にオルガンを聴かせてもらえるのが、この時期の楽しみでした。すべての作業が終わったのは、二月二日木曜日の夕刻のことでした。

オルガン奉献式は、オルガンをご寄贈くださった芦田氏ご夫

児童の日記

パイプオルガン

講堂に、パイプオルガンが入りました。中高のマーガレット講堂のパイプオルガンの音色がすばらしく、あこがれていたので、小学部にも入って嬉しかったです。

私は、ハンドベルフェスティバルで共演したときも、迫力ある音に感動していました。どうやって弾くのか、どのような作りになっているのか、パイプは何本あるのかなど、不思議がいっぱいです。

これから、パイプオルガンの演奏を聞くことができるのは、楽しみですのひつになりました。

オルガン奉献式

この前の月曜日にオルガンの奉献式がありました。奉献式とはオルガンが出来た時にする礼拝で、次にやる時は、百年後ぐらいなのです。私の学年は本当に恵まれていると思います。それは、百二十周年ページェントの劇にも出られたし、この奉献式にも出席できるからです。プログラムは、まず礼拝。みんなで歌います。次は、お礼の会です。代表のお姉さんがライル社の方と芦田さんにみんなからのお手紙を渡しました。最後にオルガンの演奏会。オルガニストの米山浩子先生に演奏していただきました。

私は、この奉献式に出られて、すごく嬉しかったです。それは、東洋英和に入れて、この学年に生まれて、この素晴らしい会に神様が招いてくださったからです。神様、本当にありがとうございます。

妻、制作のライル社長親子を招いて、三月六日に行われました。子どもたちは、奉献の祈りをもってオルガンを神様にお捧げし、歌や

ハンドベルの演奏でオルガンを捧げる喜びを表すことができました。

今では、毎週水曜日の礼拝や行事で当たり前のようにパイプオルガンが使われています。子どもたちも、ずっと以前からパイプオ

ルガンがあつたかのように、自然にオルガンに合せて歌います。

このオルガンが、多くの方の深い祈りと支え、そして神様からの恵みの賜物であることに心から感謝いたします。そしてこのオルガンが、子どもたちの信仰と、音楽を楽しむ心を育てていくものであつてほしいと願っています。

小学部音楽科 山内桜子

賛美のためのオルガン

学院オルガニスト 河野和雄

東洋英和に新しいオルガンが設置された。横浜キャンパスのノアック(アメリカ)、中高部大講堂のフィッシュヤークレーマー(ドイツ)に続いて今回はオランダのライル兄弟社製である。高くない天井、座席数の確保など場所の制約から本体が直角に曲がった珍しい配置であるが、それが不思議な存在感を持ち、しかも講堂によくなじんでいる。十二ストップという比較的小規模の楽器であるが、ライル社の特徴である大きなふいごから送られる安定した、しかもわずかに息づく風が豊かな響きを生み出し、講堂を十分に満たす。弦の音に似たヴィオラ・ダ・ガンバを含め、手鍵盤に四つの八フィートストップを備えているのはこの楽器の特徴といえるが、鍵盤をつなぐとロマンティックな響きを生み出す。合唱や他の楽器の伴奏にも便利である。プリンシパルの高音域はパイプが二本ずつ備えられ、音につやがある。フルートも美しい。上鍵盤のコルネは他のパイプから一段高い位置に設置されメロディーを浮き出させる。多少固めに整音されているので、トゥッティに加えてもその響きに色彩を添える。オルガン演奏も学んだというクルルウエイン氏が整音を担当し、美しい響きに仕上げた。彼が帰国直前に自分の子供をいとおしむように讃美歌のメロディーによって即興で弾いていた姿は印象的であった。美しい楽器の伴奏で子どもたちの元気な賛美の声は一段と大きくなることであろう。

大学の建学の理念と大学改革について

学長 鮑戸 弘

いま大学は「冬の時代」を迎えています。少子化により受験生の数は年々減少しています。一方大学の方は、受験生に人気のある新学部、新学科を増設して受験生にアピールしようとするので学生定員は増えています。こうして二〇〇七年には大学の総定員数と受験生の数と同じになる「大学全入時代」が到来すると言われていています。どこの大学もいまや生き残りをかけて、より魅力ある大学に生まれ変わるべく、必死に改革を試み

ています。本学も例外ではなく、ここ数年受験生は減少し、受験生の偏差値も低迷しており、現在進行中の「大改革」が成功するかどうか、本学の命運にかかわる状況となっています。しかしここで大切なことは、学生に人気のある大学、社会が期待している大学へと改革すること、大学が本来目指してきた建学の理念、大学の理想・校風を守ってゆくこととの間の緊張関係をどう解決してゆく



か、と言う問題です。一般の企業経営と大学の経営の違いは、企業であれば利潤を生み出すことが至上命令ですが、大学はどんな学問を存続・発展させてゆくことがこれからの社会に必要であり、どんな人材を世に送り出していくことで、社会に貢献し世界をリードしてゆけるかという、学問論、人材論が、利潤より優先するという点にあります。

本学の建学の理念は、まず東洋英和女学院の一二〇年の伝統を受け継ぎ、キリスト教教育による人材形成と、女子教育の伝統を堅持して行くという点にあります。しかし大学は、それに加えて、大学の理想・理念を訴え、本学の校風を維持し、育て、それを社会に、世界に、訴えて行くということが必要です。

本学の理想・理念はまず「専門教育の重視」という点です。心理学でも、政治学でも、ひとつの専門については学科に匹敵するくらいのしっかりした教育を修めるとともに、関連する周辺諸科学についても幅広く学ぶことで豊かな教養をもった人材を育成してゆく、これが本学が志向しているリベラルアーツ教育です。本学は良妻賢母のための大学ではなく、建学当初より「新しい時代の女性リーダーの育成」を志向しています。女子大学で社会学、経済学、国際関係論などをおいていることから明らかです。男性に

伍して男性に負けない、男性以上にリーダーシップを持った人材の育成を目指しているということです。

もうひとつ重要な点は「校風」です。本学の校風は「のびのびした、ゆとり、やさしさ」と言ってもよいのではないのでしょうか。そしてそれは、学院から大学への進学者は少ないのに、学院の幼・小・中高の校風とよく似ています。両親から愛され、先生方から愛され、社会から愛された子供たちに共通の「ものおじしい積極性」がこうした校風の共通項になっているのではないのでしょうか。こうしたよき校風を守り、育てて行くことも、私ども、私学の責務と考えています。

一方近年の学生の特徴や社会の要請に、「実学志向」と「資格志向」と言う点があります。しかしただ資格が取りたいというだけなら、専門学校でも、短大でも取れます。四大にやる意味は、しっかりとした専門教育を受けた上に、さらに資格も取れる、リベラルアーツを身につけたからこそ、教員免許も生きてくる、と言うところにあるのではないのでしょうか。いま多くの大学が受験生の志向に合わせて実学志向、資格志向の改革に必死です。専門教育の重視とか、リベラルアーツなどと言っていられる大学は少ないと言っているでしょう。本学はミッシェンスクールの名門という遺産を受け継い

でスタートしているもので、それだけの余裕があると言えるのかもしれませんが。しかし決して予断は許されません。大学の理想・理念と、受験生、社会の要請とのバランスを考えてゆくことは、不可欠です。

こうして現在両学部では、二〇〇六年度より、国際交流センターと、総合実習センターという、二つのセンターを新設し、こうした専門教育を深め、同時に資格の取得をも容易にする、という方策を模索しています。国際交流センターでは、海外留学・研修を希望する者全員の研修を可能にするべく、準備を始めています。総合実習センターは、幼稚園免許と保育士免許と両方が取れ、またこれからは中高の教員免許も取れるようにするため、大量の実習が不可欠になりますが、それらすべてを支援してゆくシステムを作ってゆきます。こうした改革を、受験生諸君、そのご家族、そして社会全体にアピールしてゆくために、入試委員会とともに、大学に広報委員会を新設し、積極的に説得、アピールしてゆく予定です。

この改革が成功するかどうかは本学の命運を決めるものとなることから、教職員全員が一丸となって、いま、改革を進めています。保護者、同窓生の皆様のご支援を是非お願いしますとともに、本学が生まれ変わり、発展してゆく姿を温かく見守っていただきたいと思えます。

「げき」っておもしろい

ある日それぞれが帰り支度をしていると「げきがはじまりますー」という声が聞こえてきました。支度を終えた二人の男の子がピアノの陰から顔を出しうれしそうに叫んでいます。帰り支度を終えた子どもから見ると、ピアノの後ろに二人は声をかけると、まさかすることになるとは思っていなかった二人はもじもじと照れてしまいました。どんな劇をするのか尋ねてみたところ、ひとりが「うーんと、あかずきん」ととっさに答え、お話は赤ずきんに決まりました。

教師がナレーターをし、二人の助っ人も加わり即席の劇が三人のお客さんを前にして始まりました。「あるところに赤ずきんという女の子が…」と語り始めても、ピアノの後ろからは誰も出てきません。すると客席から「わたしやる！」と赤ずきん役が登場しました。ナレーターも怪しいもので「…そしてオオカミは井戸に行って…」と語ったところで何かおかしい…と首をかしげていると「せんせい、それは七ひきのこやぎ」という、ひそひそ声の助けが入ります。どうにか無事にオオカミのお腹から赤ずきんとおばあさんを助け出し、この日の劇は大きな拍手と共に幕を閉じました。

劇の面白さに味をしめた子どもと教師は、この後『おどりとら』（韓国の民話）『だいくとおにろく』（日本の昔話）等の話を誕生日会や遊びの中で楽しみました。



それからしばらくした天気の良い日「せんせい、ひこうきのげきするからみにきてー」と言われ部屋に行ってみると、積み木で素敵な飛行機が作ってあります。さっそく帰る前に皆で見せてもらう事にしました。赤ずきんのとくと同じようにピアノの後ろに隠れ、飛行機に乗り込む順番だけは決まっているようです。劇をすすめるうちに、一三人の大人が飛行機に乗り、アメリカから宇宙の果てに行き、宝を持ち帰るーという話になりました。この話は続きが二度上演され、最終回では世界各地（ハワイ・タイ・バンダラレイシユ・カナダ・中国…）と旅し、研究のために写した中国の不思議な山の写真の中に怪しいもの（かいじゅう）が写っていた。という展開になりました。わくわくしながら子ども達と創っていく劇は何とも面白く、ありきたりの言い方ですが、どこまでも広がる子どものイマジネーションの世界の豊かさに感動します。

イースター礼拝ー小学生がやってくるー

かえで幼稚園は、ほとんどの子どもたちがお母さんと手をつないでやってくる、地域の子どものための幼稚園です。キリスト教を基盤とした保育をすることを目指し、大学付属の幼稚園として田園都市線のためプラーザに建てられ、今年は三四年目をむかえます。

かえで幼稚園は子どもたちに聖書の話と、み言葉を伝えることを大切にしています。幼稚園を卒園した子どもたちの何人かは、近くの教会につながりますが、ほとんどの子どもは幼い日にみ言葉が播かれてもそのままになってしまっています。私たちはそのことを残念に思い創設五年目から、クリスマス礼拝とイースター礼拝を卒園した子どもたちと共に守ってきました。

毎年教会暦のイースターの次の日、幼稚園の子どもたちは午前中に礼拝を守り、園庭や近くの公園で卵さがしをします。そしてその日の午後には、小学生がイースター礼拝にやってきます。かえで幼稚園の庭に「ただいま」と言いながら子どもたちが帰ってくる日もあります。「やあ、ひさしぶり」と肩をたたいて再会を喜んでいる姿もあります。子どもたちへの礼拝の案内の手紙は小学校の低学年にしか出さないのに、高学年も、中学生そして高校生の姿もあります。昨年は二三名の子どもたちがやってきました。誰もがほっとした表情です。子どもたちを送つ

てきた母親たちも再会を喜んでいました。こんなにもたくさんのお母さんたちが幼稚園に戻ってきてくれるのは、肯定され、愛され安心できる幼い日々があったからだと確信し、神に感謝しました。

イースターのメッセージは主の十字架と復活です。私たちの罪を十字架の上で背負ってくださったイエスキリストのメッセージが語られると、二三名の子どもの私たちは静かに、真剣に耳を傾けています。それは今の時代に、子どもたちは何に価値をおいてよいのか分からない不安があり、根底で支えてくださる絶対的な方を求めている姿であると思われされました。愛と真実に満ちた神の言葉を子どもたちは求めています。「人は語られる聖書のことばによって心（霊性）が養われる」との言葉は真実であると信じます。

二〇〇六年度も、復活された主イエス・キリストと共に歩んでまいります。



東洋英和幼稚園

大学付属かえで幼稚園

地域安全マップづくり — 中高部の生活安全教育 —

安全マップのきっかけ

子どもへの殺傷事件が多発している昨今、中高部では数年前から防犯に関する意識が高まり、特に委員会を作り対策にあたってきました。最初に取り組んだのは外からの不審者侵入に対する対策で、教師の防犯訓練実施、防犯マニュアルの整備、警備体制の再構築などでした。これにより、校内での防犯にはある程度の見通しが立ちました。しかし、やはり一番の重要な問題は生徒の登校下校時など学校で管理ができない所です。ここでは生徒個人の防犯意識、危険回避能力に頼らざるを得ません。そこで、現在は生徒の身の回りのさまざまな危険から自分を守る生活安全教育というものに力を入れています。

生徒の校外での安全対策ですが、モノに頼る安全確保には自ずと限界があります。突発的な不測の事態にはモノは効果を現わしません。例えば不意を突かれて襲われるようなケースでは携帯電話を持っていても全く役に立ちません。むしろモノに頼ってしまう安心感で危険を察知する能力が鈍化することのほうが恐ろしいことです。ここで大切なことは自分の身は自分で守る意識と危険を回避する能力です。どのような機会や場所にも危険が潜んでいるのかの教示が学校教育でも必要となってきたのが現代社会の実情だと思います。人間力を高めて危険から身を守ることが今の子ども達には

最低限必要とされることになるでしょう。中高部ではそのような観点から、中学二年生に「地域安全マップづくり」を試みまし

安全マップのねらい

「地域安全マップづくり」の指導には、横矢真理さん（子どもの危険回避研究所長―本校卒業生）をお願いしました。一年間かけて検討と準備を重ね、今回の実施となりました。この活動は実体験を通して自ら危険を見つけ回避する能力を高めることを目指しています。街歩きは学校周辺ですが、単に六本木の危険な場所を確認するのではなく、どのような場所に危険が潜んでいるのか、どのような事に気をつけて歩けばいいのか、もし危険を感じたらどのようにしたらいいかなどを身に付け、さらには自分の住んでいる地域など、場所、時間を問わず応用できるようになることを最大のねらいとしています。そして今回のもうひとつの特徴は一部の生徒だけではなく学年全員一九五名が体験できるようにしているということです。

安全マップをつくらう

中二はまず十一月に横矢さんよりガイダンスを受けました。そこでは、今回の活動のポイントなどを教わりました。自分の頭

中学部教頭 石澤 友康



学校周辺の花屋さんにてインタビュー中。「この辺りで事件はありましたか?」「困ったことがあったら店に入ってもいいですか?」インタビューするのもコミュニケーション能力アップの訓練です。



先生と一緒に担当エリアを歩きます。地図係はナビゲーターの役割をします。「次は右に曲がって…」



気づいた場所をデジタルカメラでバチリ。記録係は取材した内容を書きとめます。



「門が開いているから誰でも侵入できちゃうね。」「奥に入るほど死角になるから危ないね。」今まで何気なく見ていた風景に重要な意味が見えてきます。

で犯罪の起こりやすい場所や危険な場所を
考えて欲しいとのこと。

①入りやすくて見えにくい場所が危険な場
所である

②落書きやゴミの多い場所は人の関心が薄
いことを意味するサインである

などのポイントをアドバイスしていただ
きました。

十二月になりいよいよ街歩きに出かけま
した。五〜六名でグループを作り、一グル
ープには班長、副班長、地図係、写真係、
インタビュー係と役割分担し、事前に決め
られたエリアにグループ毎出発しました。
グループには先生が一名サポーターにつつま
した。危険と思われる箇所や学校一〇番
のある店などの取材や写真撮影を行って
きました。「ここが危険なのか」「なぜ危険
なのか」を街を歩いて観察していきうちに
次第に理解していく生徒達の様子がみられ
ました。

「あ、このビルの隙間は人がいても見えな
いね。」

「駐車場は広くて安全そうだけど、意外と
隠れるところが多いよ。」

「この扉の角で待ち伏せされていたら見え
ないね。」

通学路ではない人通りのない路地裏が、
なぜ通ってはいけない道になっているのか
理由が分かってきたようでした。

青果店やコンビニエンスストアなど学校
周辺の店舗などに行うインタビューも重要
な仕事です。この付近で事件が起こったか、
危険な目に遭ったかどうかに行けば安全かな

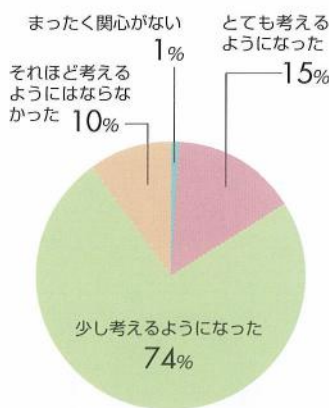
どを取材しました。インタビューを行うこ
とには思わぬ副産物がありました。それは
街の人々に東洋英和という学校を認識して
もらえるという事です。中には「昨日も英
和の子達が来たよ。」と嬉しいながらもや
さしくインタビューに答えてくれる店の人
もいました。街で子どもを守るのには、
人と人との繋がりの中で子どもを見守ると
いう事が最大の防犯ではないかと思いま
す。あそここの学校の生徒だな、あの家の子
どもだなという認識を地域の人がお互いに
持ち、いざというときに助け合うことがで
きる集合体こそが最も犯罪に強い組織では
ないかと。さまざまな取材レポートを模造
紙に地図としてまとめて行きました。デジ
タルカメラで撮影した写真はコンピュータ
教室で印刷しました。色紙を使ってポイン
トを強調したり、写真やイラストで見やす
い地図に仕上げたりしていきます。

一月には出来上がったマップをクラスの
中で披露する発表会をもちました。各グル
ープともなかなかの出来栄です。友達の
発表を聴いて、自分たちの活動のフィード
バックにも役立っているようです。

二月、秀作マップはエントランスに展示
し、全校生徒に見てもらいました。さらに
新学期には新入生に対して、通学で危険な
目に遭わないように今回使ったマップを用
いて説明に行くことを予定しています。中
三の先輩としてポイントを手伝って伝えるこ
とができれば、中一にも中三にも安全に対
する意識はさらに高まるものと期待してい
ます。

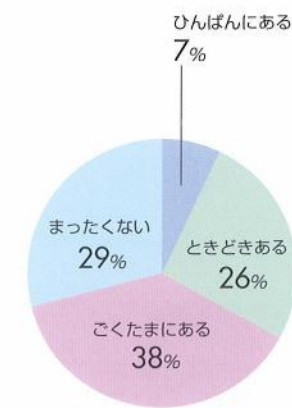
Q1

今回の安全マップづくりを通して、
身の周りの危険について考えるよう
になりましたか？



Q2

自宅付近で犯罪に会いそうな危険
を感じたことがありますか？



写真はデジタルカメラで撮影した写真をパソコンに読み込み、使う写真を選びます。すぐプリントアウトできるところが便利です。



基本マップは地図の得意な生徒の担当。その上に写真を貼り、分りやすく色を塗って…など、さまざまな工夫を盛り込んでいきます。美術センスも問われるところです。

アンケートより「中2生徒のおもな感想」

- 楽しくみんなで協力しながら自分の身を守るためのマップが作れてよかった。
- 安全マップづくり以来、家に帰る途中の暗い道では、とても注意深く周囲を見るようになった。
- 他人から「ここが危ない」と言われるのではなく、自分で見つけることに深い意味があると思った。
- 実際に見て歩くと、とても頭に入り危険についてよく考えられました。また、見て歩くところで終わらずマップを書くことによってより深く理解できました。楽しかったです。
- 今回インタビューして町の人たちに英和生のことも知ってもらえたので、何かあったときには助けてくれたり、いつもちゃんと通っていると少し見てもうだけでも全然キケン度が変わると思うから、今回のマップ作りは色々な意味での安全を考えられていた。



完成した安全マップ

2006年度 行事予定

小学部		東洋英和幼稚園		大学付属かえで幼稚園	
4月	7日(金) 始業式 11日(火) 入学式 14日(金) 受難日礼拝 19日(水) イースター礼拝 28日(金) 春の遠足	4月	10日(月) 始業礼拝 14日(金) 入園式 27日(木) 新入園母子歓迎会	4月	8日(土) ワーク(5歳児、父親保育参加及び家族のバーベキュー、年4回実施) 12日(水) 入園式 17日(月) イースター礼拝 27日(木) 園外保育(4歳児)
5月	27日(土) 運動会	5月	18日(木) はみがき指導	5月	11日(木) 園外保育(5歳児) 23日(火) 園外保育(3歳児)・健康診断
6月	5日(月) ヘンテコステ礼拝 7日(水)～9日(金) 4年生 追分の生活 20日(火) 鑑賞の日 22日(木) 学校説明会①	6月	1日(木) 春の遠足(金沢八景海の公園) 10日(土) 父母の会 23日(金) 銀杏の木献金セール	6月	* 歯科検診
7月	1日(土) 学校説明会②・土曜参観 14日(金) 授業終了日 18日(火)～28日(金) 1年・2・6年・3年 追分の生活	7月	5日(水)～7日(金) 年長組(5歳児)キャンプ(軽井沢追分寮) 15日(土) 入園説明会① 17日(月) 入園説明会②	7月	10日(月) 母親講演会(ケニアと共に生きる—市橋さら氏) * 父親講演会 18日(火) たのしみ会(3歳児) 19日(水) 夕涼み・花火大会(4、5歳児)
8月		8月		8月	30日(水)～31日(木) 夏期保育
9月	5日(火) 始業 14日(木) 心と体の勉強会 19日(火)～22日(金) 6年 修学旅行(北海道) 26日(火)～29日(金) 5年 追分の生活	9月	6日(水) 始業礼拝 29日(金) 祖父母の会	9月	1日(金)・4日(月) 夏期保育 6日(水)～8日(金) 軽井沢キャンプ(5歳児)
10月	1日(日) 追悼記念日礼拝 5日(木) 秋の遠足(1～4年生) 6日(金) 前期終業式 10日(火) 後期始業式 24日(火) 球技会	10月	1日(日) 追悼記念日礼拝 14日(土) ひよこ組(3歳児)・年少組(4歳児)父と遊ぶ日 24日(火)～26日(木) 入園考査	10月	1日(日) 追悼記念日礼拝 21日(土) ファミリーデー(4、5歳児)(大学校地) 25日(水) 入園説明会
11月	1日(水) 入学考査 6日(月) 学院創立記念日	11月	6日(月) 学院創立記念日 10日(金) 年長組りんご園遠足(長野県上田市)	11月	2日(木) 芋ほり(4、5歳児) 6日(月) 学院創立記念日・音楽会 27日(月) アドヴェント礼拝Ⅰ
12月	1日(金) 学芸会 4日(月) クリスマスツリー点灯式 16日(土) むかえようクリスマス 19日(火) 授業終了日 20日(水) クリスマス礼拝	12月	6日(水) 母の会・つばみ会アドヴェント礼拝 14日(木) アドヴェント終業礼拝	12月	4日(月) アドヴェント礼拝Ⅱ 11日(月) アドヴェント礼拝Ⅲ 15日(金) クリスマス礼拝(3歳児) 19日(火)～20日(水) クリスマス礼拝(4、5歳児)
1月	9日(火) 始業 26日(金) マグノリアコンサート	1月	10日(水) 始業礼拝 * おもちつき * 年長組 ACEF訪問	1月	* 教会訪問
2月	2日(金)～3日(土) 美術展 3日(土) 6年生親子討論会 15日(木) キリスト教講演会 20日(火)～23日(金) クラブ発表週	2月	3日(土) 年長組父と子の遠足(栃木県那須高原) 7日(水) 日本舞踊を観る会 * お話のろうそく(お話を聞く会)	2月	10日(土) 父親保育参加(4歳児) 21日(水) 卒業遠足 * おもちつき
3月	14日(水) 卒業式 16日(金) 修業式 20日(火)～22日(木) 歴史探訪の旅(奈良・京都) 20日(火)～23日(金) スキー教室(熊ノ湯)	3月	* お別れ会 * 課外日舞おさらい会 * 課外ピアノ科おさらい会 12日(月) 終業礼拝 13日(火) 卒業式	3月	1日(木) 園外保育(4歳児) 3日(土) お父さんと遊ぼう(3歳児) 20日(火) 卒業式

*印は日程が未定です。(3月31日現在)

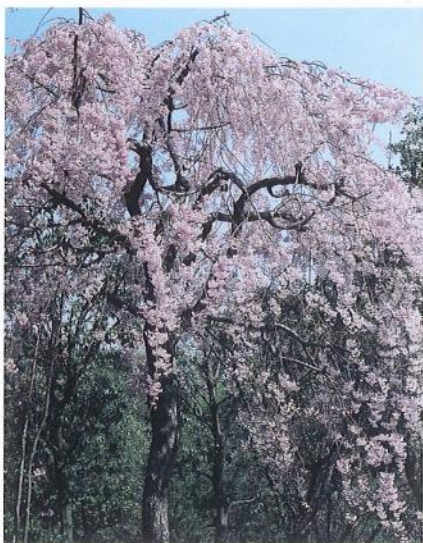
2006年度 行事予定

大 学 院			大 学			中 高 部		
4月	8日(土)	入学式・オリエンテーション	4月	3日(月)	入学式	4月	7日(金)	中学部入学式
	10日(月)	前期授業開始		3日(月)~7日(金)	3日(月)~7日(金)		学内オリエンテーション	10日(月)
	22日(土)	修士論文題目届提出締切日 (2006年9月終了見込者) 博士論文題目届提出締切日 (2007年3月終了見込者)		10日(月)	前期授業開始		22日(土)	高等部入学式・始業式
				22日(土)	ブレイディ(幼児課程履修生)			授業公開日・母の会総会
5月	27日(土)	入試説明・相談会	5月	17日(水)~18日(木)	1年生オリエンテーション合宿 (人間科学部)	5月	8日(月)~10日(水)	高3修養会(天城)
				18日(木)~19日(金)	1年生オリエンテーション合宿 (国際社会学部)		15日(月)~19日(金)	高2修学旅行(広島・長崎)
7月	6日(木)	修士論文 / 研究成果レポート提出 締切日					15日(月)~19日(金)	中1オリエンテーション前後期 (軽井沢追分)
	8日(土)	2006年度修士課程後期入学試験					17日(水)	中2~高1遠足 / 高3模試
	29日(土)	入試説明・相談会	6月	17日(土)	東京女子大学スポーツ交流会	6月	6日(火)~9日(金)	I 期中間試験
				18日(日)	オープンキャンパス		9日(金)	花の日礼拝 / 観賞行幸 / 花の日訪問
9月	9日(土)	人間科学研究科修士課程 2007年度前期(秋季選抜)一次試験	7月	16日(日)	大学生生活体験講座		10日(土)	花の日訪問
	18日(月)	人間科学研究科修士課程 2007年度前期(秋季選抜)二次試験		29日(土)	オープンキャンパス		22日(木)~23日(金)	高1カンファレンス
		国際協力研究科修士課程 2007年度前期(秋季選抜)試験					30日(金)	合唱コンクール(中学部) 球技会(高等部)
	23日(土)	2006年度後期科目等履修生・ブ ログラム履修生試験	8月	25日(金)	オープンキャンパス			
	25日(月)	学位授与式 / 入学式・オリエン テーション				7月	1日(土)	オープンスクール
	30日(土)	博士論文提出締切日 (2007年3月終了見込者)		9月	18日(月)		15日(土)~17日(月)	オープニングキャンプ(野尻)
				25日(月)	後期授業開始		16日(日)~8月6日(日)	語学研修旅行(カナダ)
10月	1日(日)	追悼記念日礼拝	10月	1日(日)	追悼記念日礼拝		21日(金)~28日(金)	中2夏期学校前後期(野尻)
	7日(土)	修士論文題目届提出締切日 (2007年3月終了見込者)		9日(月)	オープンキャンパス		28日(金)~31日(月)	訓練キャンプ(野尻)
	28日(土)	入試説明・相談会		22日(日)	編入試・社会人・外国人留学生入試		31日(月)~8月5日(土)	キャンプ(野尻)
11月	6日(月)	学院創立記念日	11月	2日(木)~3日(金)	かえで祭	8月	1日(火)~3日(木)	修養会(軽井沢追分)
				6日(月)	学院創立記念日			
				9日(木)	創立記念礼拝	9月	9日(土)	第1回学校説明会
				25日(土)	収穫感謝祭(幼児課程履修生)		19日(火)~25日(月)	I 期期末試験
				26日(日)	公募制推薦入試 (保育子ども専攻を除く)			
				29日(水)	アドヴェント夕礼拝			
12月	2日(土)	国際協力研究科修士課程 2007年度前期(冬季選抜)	12月	1日(金)	清楓会クリスマスパーティー	10月	1日(日)	追悼記念日礼拝
	7日(木)	修士論文 / 研究成果レポート提 出締切日(2007年3月終了見込者)		17日(日)	スカラシップ特別入試		3日(火)	第II学期始業礼拝
				18日(月)	クリスマス礼拝		7日(土)	体育祭
2月	10日(土)	人間科学研究科 2007年度前期(春季選抜)一次試験		*	クリスマスチャペルコンサート		20日(金)~21日(土)	楓祭
	17日(土)	人間科学研究科 2007年度前期(春季選抜)二次試験	1月	13日(土)	公募制推薦・社会人入試 (保育子ども専攻のみ)			
		国際協力研究科 2007年度前期(春季選抜)試験		20日(土)~21日(日)	大学入試センター試験利用選抜			
				31日(水)	一般入試			
3月	3日(土)	2007年度前期科目等履修生・ブ ログラム履修生試験	2月	16日(金)	一般入試(後期)	11月	6日(月)	学院創立記念日
	24日(土)	学位授与式					7日(火)~10日(金)	創立記念特別週間
			3月	11日(日)	大学生生活体験講座		18日(土)	第2回学校説明会
				14日(水)	卒業礼拝		22日(水)	球技会(中学部)
				16日(金)	卒業式			
						12月	1日(金)~7日(木)	II 期中間試験
							9日(土)	クリスマス音楽会
							20日(水)	クリスマス礼拝
						2月	1日(木)	入学試験A日程
							3日(土)	入学試験B日程
						3月	1日(木)~7日(水)	II 期期末試験
							14日(水)	中学部卒業式・修業式
							15日(木)	高等部修業式
							16日(金)	高等部卒業礼拝
							19日(月)~4月3日(火)	卒業式
							短期留学(アメリカ)	
							19日(月)~22日(木)	スキー教室(志賀高原)
							20日(火)~23日(金)	社会科学習旅行(奈良・京都)
							27日(火)~30日(金)	聖書科学習旅行(沖縄)

全 学 院					
4月	1日(土)	新任者辞令交付式	11月	6日(月)	学院創立記念日
	14日(金)	全学院新年度礼拝・歓迎会		8日(水)	全学院研修・懇談会
				11日(土)	ピアノ科120周年音楽会
6月	23日(金)	後援会常任役員会・役員会・総会	12月	8日(金)	全学院クリスマス礼拝
9月	8日(金)	後援会・母の会役員・学院懇談 会 / 後援会常任役員会	3月	2日(金)	後援会・母の会役員・学院懇談 会 / 後援会常任役員会
				30日(金)	退職者送別会
10月	1日(日)	追悼記念日礼拝			
	13日(金)	後援会役員会			

英和の植物通信

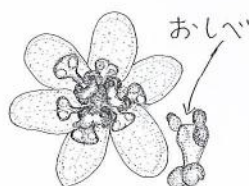
～目を近づければ楽しさ無限～ No.04



枝垂れ桜 日本とオーストラリアの友好関係を促進された故Myer康子 平岡さん(1963年、高等部卒)を記念してご両親が1993年に植えられた。

絵・文・写真：中池 敏之

(大学非常勤講師：博物館概論等担当)
生涯学習センター講師



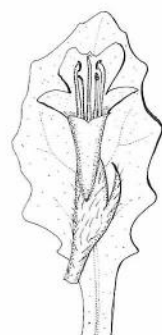
クロモジ(雄花)
花弁には輝く腺点



アンズ(タネ)
穴をあけて蜜にする



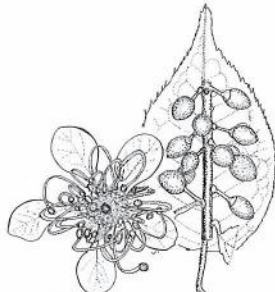
タチツボスミレ
距には蜜がたまる



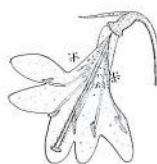
キランソウ
花は地上の宝石

【サクラ(桜)】

春、横浜キャンパスは「見わたせば柳桜をこきまぜて都ぞ春の錦なりける」の景色になる。正門から守衛室まではソメイヨシノの花のトンネル、礼拝堂の前は枝垂れ桜(写真)が輝く。学内のサクラ(Prunus)の仲間には、アンズ、ウメ、ウワミズザクラ、カスミザクラ、セイヨウバクチノキ、セイヨウスモモ、ヤマザクラ、ユスラウメなどがある。この他の花では、青色のフデリンドウ、濃紫色のキランソウ、金色のキンラン、純白のアセビ、淡紫色のタチツボスミレ、淡黄緑色のクロモジ、桃色のウグイスカグラなどまさに百花繚乱。



ウワミズザクラ
蕾は塩漬に、実は果実酒として利用



ウグイスカグラ
花と蕾の葉が良く似合う



ユスラウメ
実は大人と子供の高級果物だった



アセビ(あしべ)
この形、カンパリア系のバージェス動物群のよう

東洋英和女学院大学 生涯学習センター

特別公開講座

- 21世紀の「子どもに生きよう！」
-今、問う、子ども・保育・保育者-
春学期(6回)・秋学期(5回) ⑧18:00~
- 日加文化交流史(1)
-カナダ宣教師たちの働き-
キリスト教伝道・教育・福祉事業
秋学期(9回) ⑨19:00~
など魅力的な71講座が開講です。
2006年度のパンフレットができました。
お気軽に資料をご請求下さい。(無料送付中)

横浜キャンパス TEL 045-922-9707
六本木キャンパス TEL 03-3583-3328

第44号 東洋英和女学院学院報 楓園

発行日：2006年4月28日
編集：学院報編集委員会
発行：学校法人 東洋英和女学院
東京都港区六本木5-14-40
TEL 03-3583-3325
メールアドレス
koho@toyoeiwa.ac.jp
ホームページアドレス
http://www.toyoeiwa.ac.jp/

同窓会より

東洋英和女学院同窓会・各部同窓会では、三月の卒業の時期にあわせて、左記の通り新入会員の入会式を行いました。

三月一日 同窓会(※1)・東光会(※2)
三月十七日 同窓会・楓美会
三月十八日 同窓会・大学院同窓会
また四月から六月にかけて、同窓会と各部同窓会の総会が左記の日程で行なわれます。

四月一五日 短期大学同窓会
(礼拝奨励 山岡清二先生)
保育部会(講演 宮下充正先生)
かえて会・楓雅会
六月三日 同窓会・東光会・楓美会・大学院同窓会

今春も大勢の卒業生を新会員として迎えることができ、感謝しております。同窓会の誇りであるこの縦の絆を決して絶つことなく母校の発展に寄与できるように、皆様方の更なるご協力をお願い致します。六月三日の同窓会総会に同窓会会員は是非ご出席ください。

(※1) 東洋英和女学院同窓会の略称
(※2) 高等部同窓会東光会の略称

お知らせ

池田守男理事長
第三回「新渡戸・南原賞」受賞決定
「新渡戸・南原賞」は「新渡戸・南原基金」より、新渡戸稲造、その弟子南原繁阿氏の精神の継承者に送られています。授賞式は六月五日青学会館で行われます。

前中学部長の清野禮先生は二〇〇三年八月九日、天に召されました。先生は生徒として教師として四十五年間を東洋英和女学院で過ごされました。先生がさまざまなところに書き遺された文章と、追悼文からなる「神を思ふ 清らけきもの」

清野禮先生遺稿・追悼文集」が「清野禮遺稿・追悼文集刊行会(代表、雨宮美枝子)」編集、お兄様の清野良民様によって刊行されました。まだ多少残部がございます。ご希望の方は、左記にお問い合わせ下さい。

法人事務局広報室 〇三・三五八三・三三三二五
東光会事務所 〇三・三五八三・〇七二二